



(題字 小澤 浩 学長)

第440号  
(平成13年 8 月号)

8月のトピックス

◇ 1日 富山大学説明会を開催



◇ 7月30日～8月4日 附属小学校サッカー部が県代表として全国大会に出場



## 目 次

|   |    |
|---|----|
| 関 係 法 令 .....                                 | 3  |
| 学 内 規 則                                       |    |
| ◆ 富山大学教員の停年に関する規則の改正 .....                    | 3  |
| 諸 会 議 .....                                   | 4  |
| 学 事   |    |
| ◆ 富山大学入学者選抜試験合否判定の過誤とその後の対応の誤りに係る処分について ..... | 5  |
| 人 事 異 動 .....                                 | 7  |
| 学 内 諸 報                                       |    |
| ◆ 富山大学説明会を開催 .....                            | 8  |
| ◆ 教育学部附属中学校が中国遼寧省阜新市実験中学校と友好校関係協定を締結 .....    | 9  |
| ◆ 教育学部附属小学校サッカー部が県代表として全国大会に出場 .....          | 10 |
| ◆ 中学生を対象とした公開講座「21世紀のものづくりと科学」を開講（工学部） .....  | 10 |
| ◆ 海外渡航者 .....                                 | 11 |
| お 知 ら せ                                       |    |
| ◆ 人事院勧告の概要 .....                              | 13 |
| 主 要 行 事 .....                                 | 16 |

# 関 係 法 令

(告 示)

- 科学研究費補助金取扱規定の一部を改正する件（文部科学133）（平成13.8.2 官報第3170号）
- 社会教育に関係のある職及び教育に関する職の指定の一部を改正する件（文部科学146）（平成13.8.30 官報第3190号）

# 学 内 規 則

## 富山大学教員の停年に関する規則の改正

### 富山大学教員の停年に関する規則の改正理由

教育公務員特例法の一部改正に伴い、所要事項を改める。

富山大学教員の停年に関する規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成13年 4 月 1 日

富山大学長 時 澤 貢

### 富山大学教員の停年に関する規則の一部を改正する規則

富山大学教員の停年に関する規則（昭和32年 2 月 8 日制定）の一部を次のように改正する。

題名を次のように改める。

富山大学教員の定年に関する規則

第 1 条中「第 8 条第 2 項」を「第 8 条の 2 第 1 項」に、「および」を「及び」に、「停年」を「定年」に改める。

第 2 条中「停年」を「定年」に改める。

附 則

この規則は、平成13年 4 月 1 日から施行する。

## 国際交流会館運営委員会（8月2日）

（審議事項）

- (1) 平成13年10月期国際交流会館入居者の選考について

## 国立大学の設置形態に関する検討特別委員会・富山大学の在り方に関する検討特別委員会の合同委員会

（8月27日）

（審議事項）

- (1) 再編統合問題について

## 国立大学の設置形態に関する検討特別委員会・富山大学の在り方に関する検討特別委員会の合同委員会

（8月10日）

（審議事項）

- (1) 再編統合問題について

## 国立大学の設置形態に関する検討特別委員会・富山大学の在り方に関する検討特別委員会の合同委員会

（8月28日）

（審議事項）

- (1) 再編統合問題について

## 部局長会議（8月20日）

（審議事項）

- (1) 再編統合問題について

## 入学試験実施委員会（8月30日）

- (1) 入試情報開示について

## 国立大学の設置形態に関する検討特別委員会・富山大学の在り方に関する検討特別委員会の合同委員会

（8月20日）

（審議事項）

- (1) 再編統合問題について

- (2) 入学者選抜試験合否判定過誤に伴う対応策について

① 電子計算機処理に伴う仕様書について

② 合否判定資料の様式例（案）について

③ 出題ミスについて

## 国立大学の設置形態に関する検討特別委員会・富山大学の在り方に関する検討特別委員会の合同委員会

（8月31日）

（審議事項）

- (1) 再編統合問題について

## 部局長会議（8月27日）

（審議事項）

- (1) 再編統合について

**富山大学入学者選抜試験合否判定の過誤とその後の対応の誤りに係る処分について**

平成13年8月9日付けで標記の報告書が公表されました。

平成13年 8 月 9 日

富山大学入学者選抜試験合否判定の過誤とその後の対応の誤りに係る処分について

平成9年度及び平成10年度入学者選抜試験合否判定の過誤とその後の対応の誤りに係る処分について、本日の評議会をもって審査を終了しましたので、合否判定過誤の原因とその後の対応の誤りの経緯等についての責任の所在と処分の概要を報告します。

(1) 入試合否判定過誤について

原因

人文学部においては、平成8年度入学者選抜試験で、大学入試センター試験の数学A（数Ⅰ）を合否判定に使用していたが、平成9年度入学者選抜試験からは、大学入試センター試験に係る数学については、数学のうち、「数学①（数Ⅰ等）」及び「数学②（数Ⅱ等）」の双方の科目を受験している場合は、得点の高い方の科目の得点を合否判定に使用する方法に変更されたにも関わらず、この点について電算処理プログラムを変更しなかったため、入試合否判定過誤が生じた。

責任の所在

- ・ 本学における入試合否判定は、学部教授会が行うものとなっており、入学者選抜要項、学生募集要項、合否判定資料様式、合否等を決定する権限を有している。  
教授会構成員は、その職責、関係委員会等への関与の度合・軽重等に応じ、その責任を問われなければならない。
- ・ 学部長は、学部の入試業務の統括責任者であることから、管理責任者としての職務の重大性を認識せねばならない。  
また、合否判定資料の作成は、実際には、当該学部の電算処理委員が責任を持って行うこととなり、その責任は重い。
- ・ 入試課は、各学部から提出された入学者選抜要項の変更点を正しく理解したうえで、電算処理委員会に対し、電算処理プログラムの変更に必要な情報、判定資料作成に必要な情報等を適確に伝達しなければならず、入試合否判定の過誤を招いた責任を負わなければならない。

(2) 入試合否判定過誤の隠蔽について

経緯

平成11年3月3日、人文学部所属の電算処理委員により入試合否判定過誤が発見された。当時の能登谷学生部長、鈴木人文学部長が対応について協議した。学生部長が隠蔽を持ちかけ、人文学部長は当初異議を唱えたが最終的には隠蔽に同意した。同席した学生部次長、入試課長、人文学部・理学部事務長は、隠蔽を黙認した。

責任の所在

入試合否判定過誤の隠蔽は、国家公務員としてあるまじき行為であり、国民の信頼を大きく失うものである。特に、今回の隠蔽は、責任ある立場にある者によってなされており、この隠蔽がなければその時点で救われた者が多々いたことが予想できるだけに、その責任は特に重い。

また、入試合否判定過誤を知りながら、何らの措置もとらず黙認した者についても、受験生が受けた影響の大きさを考慮すれば、それ相当の責任を負わざるを得ない。

## (3) 匿名投書後の対応について

## 経緯

本年2月26日に入試合否判定過誤に関する匿名の投書があり、事実調査をしたが、投書で指摘されたような事実は確認できなかった。

2月下旬に、能登谷副学長から平成11年3月の入試合否判定過誤隠蔽の事実を告げられた小澤副学長が、時澤学長に対して事実調査の指示を要請するなど、公表に向けた取り組みを開始した。

しかし、大学として事実調査を開始したのは5月下旬である。

## 責任の所在

本年2月に入試合否判定過誤に関する匿名の投書があったが、この投書の回答に向けた調査は不十分であったとのそしりは免れない。

また、その後の対応は、入試合否判定過誤の公表に向けてとはいえ、公表に至るまで3月余を要した。事の重大性及び緊急性から判断して、この時間的遅滞は明らかに責任者の判断ミスによるものであり、その責任が問われなければならない。

このたびの入学選抜における合否判定過誤及びその後の対応の誤りにより、多くの受験生に多大な被害を与えただけでなく、社会的にも大学入試制度への信頼を著しく失わせることとなりました。

このような取り返しのつかない事態を発生させた本学の責任を重く受け止めております。改めて、心よりお詫びいたします。

今後は、新たな合格者やそのご家族に対し誠意をもって補償への対応をさせていただくと共に、教育機関として、大学入学試験に対する受験生の信頼と社会からの信頼の回復を得ることが出来るよう努力する所存であります。

## (処分のまとめ)

| 区 分                              | 処 分 の 内 訳 |             |            |            |            |     |              | 計   |
|----------------------------------|-----------|-------------|------------|------------|------------|-----|--------------|-----|
|                                  | 免 職       | 停 職<br>12 月 | 減 給<br>6 月 | 減 給<br>3 月 | 減 給<br>1 月 | 戒 告 | 訓 告・<br>嚴重注意 |     |
| 学 長<br>(元 人 文 学 部 長)             |           |             | 1          |            |            |     |              | 1   |
| 前 副 学 長<br>(元 学 生 部 長)           | 1         |             |            |            |            |     |              | 1   |
| 前 人 文 学 部 長                      |           | 1           |            |            |            |     |              | 1   |
| 人 文 学 部 長<br>(元 評 議 員)           |           |             |            |            |            | 1   |              | 1   |
| 元 学 生 部 長                        |           |             |            |            |            | 1   |              | 1   |
| 電 算 処 理 委 員                      |           |             |            |            | 2          | 2   |              | 4   |
| 入 試 委 員 等                        |           |             |            |            |            | 3   |              | 3   |
| 人文学部教授会構成員<br>(上記処分を受けた者を<br>除く) |           |             |            |            |            |     | 4 4          | 4 4 |
| 事 務 職 員                          |           |             |            | 2          |            | 4   | 2            | 8   |
| 計                                | 1         | 1           | 1          | 2          | 2          | 1 1 | 4 6          | 6 4 |

(注) 減給は、いずれも俸給の月額 $\frac{1}{10}$ である。

# 人 事 異 動

| 異動区分  | 発令年月日     | 氏 名     | 異動前の所属官職                    | 異 動 内 容                            |
|-------|-----------|---------|-----------------------------|------------------------------------|
| 採 用   | 13. 8. 1  | 瀬田 剛    |                             | 講師 工学部<br>(機械知能システム工学科エネルギー環境工学)   |
|       | "         | 藤井 太門   |                             | 臨時用務員 (学生部厚生課作業員)                  |
|       | 13. 8. 31 | 松井 輝代   |                             | 臨時用務員 (教育学部炊婦)                     |
|       | "         | 堰免 芳子   |                             | "                                  |
|       | "         | 仲谷千鶴子   |                             | "                                  |
|       | "         | 藤井 香    |                             | "                                  |
| 昇 任   | 13. 8. 1  | 布村 忠広   | 助教授 教育学部 (保健体育)             | 教授 教育学部 (保健体育)                     |
|       | "         | 小野 慎    | 講師 工学部<br>(物質生命システム工学科応用化学) | 助教授 工学部<br>(物質生命システム工学科応用化学)       |
| 臨時的任用 | 13. 8. 1  | 岡根 江見   |                             | 助手 経済学部<br>(経営学科管理科学) (~13. 9. 21) |
| 辞 職   | 13. 8. 10 | 鈴木 敏昭   | 教授 人文学部                     | 辞 職                                |
|       | "         | ムウ ダビオン | 講師 (研究機関員)<br>水素同位体科学研究センター | "                                  |
|       | 13. 8. 31 | 吉田 恵吉   | 附属図書館情報サービス課情報サービス係長        | "                                  |
| 退 職   | 13. 8. 1  | 岡根 江見   | 技術補佐員 (経済学部)                | 平成13年 7月31日限り退職                    |
| 育児休業  | 13. 8. 1  | 城宝佐智子   | 助手 経済学部 (経営学科管理科学)          | 育児休業 (~13.9.21)                    |
| 職務命令  | 13. 7. 27 | 池野 進    | 教授 工学部                      | 富山大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー長 (~16.3.31)  |
|       | "         | 平井 美朗   | 教授 理学部                      | 富山大学ベンチャー・ビジネス・副ラボラトリー長 (~16.3.31) |

# 学 内 諸 報

## 富山大学説明会を開催

### —富山大学会場—

本学説明会が8月1日（水）に黒田講堂及び各学部を会場として開催されました。

この説明会は、大学進学を目指す高校2年生及び3年生を対象に、本学の入試内容や教育内容等についての理解を得ることを目的として毎年開催されているもので、今年で14回目の開催となりました。

近年、夏休み期間中に志望大学を見学することが定着したことから、富山県をはじめ、石川県など近県はもとより、遠くは岩手県や愛媛県などからも参加者があり、今年は820名の参加者がありました。

今年は実施方法が大きく変更され、全体説明会が午前と午後の2回に開催されたことと、学部説明会が午前中に人文学部及び工学部が、午後に教育学部、経済学部及び理学部において行われ、参加者は2つの学部説明会に出席することが可能となりました。

黒田講堂において行われた全体説明会では、小澤学長から、本学人文学部の合否判定過誤とその後の対応の誤

りについて謝罪があり、平成14年度入試については万全の体制で臨めるよう検討を進めている旨述べられた後、鈴木副学長から本学の概要について説明がありました。

その後、参加者は希望する各学部に分かれ、模擬授業を受けたり、在学生の説明や実験室の見学等を行うなど、進路決定の参考にしようとして熱心に聴き入っていました。



△学部説明会（経済学部）

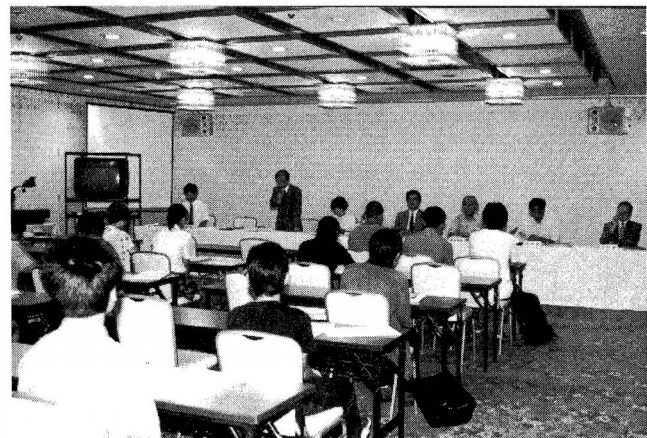
### —名古屋市会場—

学外における本学説明会が8月27日（月）に名古屋市のKKR名古屋三の丸を会場として開催されました。

この説明会は、今回で9回目を数え、今年は63名の参加者がありました。

午前中は高等学校の進路指導担当教諭を対象に、午後からは本学へ進学を希望する高校生及びその保護者を対象に説明が行われました。

説明会では、玉村学生部長から、本学人文学部の合否判定過誤とその後の対応の誤り及び改善への検討状況について説明があった後、大学概要・各学部の紹介、平成14年度入試の概要説明及び大学紹介ビデオの上映（午前の部のみ）が行われました。



△名古屋市会場における説明会



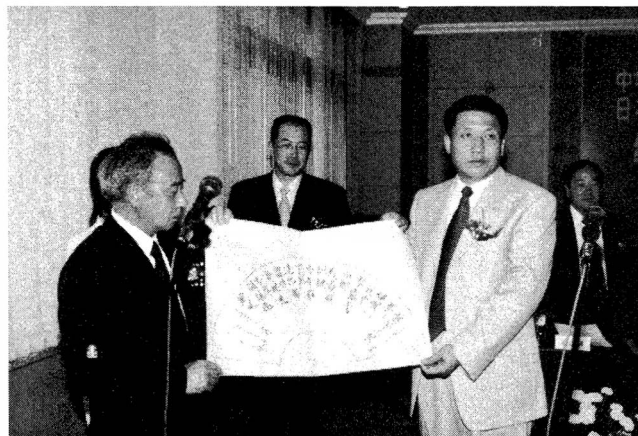
## 教育学部附属中学校が中国遼寧省阜新市実験中学校と友好校関係協定を締結

8月2日（金）に本学教育学部附属中学校が、中国遼寧省阜新市実験中学校と、阜新市実験中学校において友好校関係協定を締結しました。

阜新市実験中学校は、教育課程の期間を小学校は5年間、中学校は4年間、高等学校は3年間として教育を試みている小中高一貫校です。

式では、本学教育学部附属中学校の清水校長をはじめとする教官・生徒17名が阜新市実験中学校の王校長他職員・生徒の大歓迎を受け、協定書に両校長が調印しました。

来年度には実験中学校の教師と生徒が来日する予定であり、今後の交流が一層充実し、双方に実り多いものとなることが期待されています。



## 教育学部附属小学校サッカー部が県代表として全国大会に出場

第25回全日本少年サッカー大会が7月30日（月）から8月4日（土）の期間、東京の読売ランド等を会場として開催され、富山県代表として、本学教育学部附属小学校SSSが出場しました。

サッカーを志す少年達にとって、この大会に出場することは夢であり、附属小学校SSSイレブンには全校生徒及び父兄等の激励を受け、健闘を誓っていました。

試合は、7月31日（火）に青森県代表の百石小学校SSSと対戦し、4対1で快勝しましたが、続く鹿児島県代表のさつきJFCに1対2で、さらに山口県代表の山口SSにも1対2で敗れ、残念ながら1次リーグ2位となり、2次リーグへの進出はできませんでした。しかし、ディフェンスから組織的に組み立てて、中盤に前線へと確実に展開していく附属小学校らしいサッカーを全国大会で披露することができ、また、現代サッカーに必要なとされる早い判断力を附属小学校SSSイレブンも持っており、全国レベルに到達していることが証明されました。

なお、8月12日（日）～13日（月）に横浜国際総合競技場で開催された「国際少年サッカー大会2001」の日本代表の1人として、附属小学校SSSの貫場友介選手が出場しました。



## 中学生を対象とした公開講座「21世紀のものづくりと科学」を開講（工学部）

恒例となった中学生を対象とした公開講座（体験学習）が、8月2日（木）と3日（金）に工学部の研究室を会場として開講されました。

この公開講座は、本年度で7回目を数え、科学に興味を持つ中学生が多数参加する安定した企画へと成長し、今年度のテーマは「21世紀のものづくりと科学」として、県内各地から45名が参加しました。

今回は、限られた時間内で、出来る限り多くの研究に触れるという目的で、次の6テーマが準備されました。

- ①ロボットを作って、動かしてみよう
- ②ラビリンス（迷路）の設計と製作－CAD&CAMに親しむ－
- ③オリジナルマイクロ・ミニチュアロボットを作ろう
- ④超伝導を科学してみよう
- ⑤においを目で見るセンサーを作る
- ⑥10万分の1ミリメートルの膜をつくる

公開講座終了後に開催された受講生と担当教官の懇談会の場では、「大学の研究室で貴重な体験ができた」、「大学生になると研究室で何をやるかもっと知りたい」等の発言がありました。



## 海 外 渡 航 者

| 渡航の種類 | 所 属  | 職   | 氏 名     | 渡航先国       | 目 的                         | 期 間                    |
|-------|------|-----|---------|------------|-----------------------------|------------------------|
| 外国出張  | 教育学部 | 教授  | 清水 建 次  | 中 国        | 姉妹校提携調印式を行うため               | 13. 8. 1<br>} 13. 8. 5 |
|       | 理学部  | 助手  | 唐 原 一 朗 | アメリカ合衆国    | 植物細胞における輸送小胞の電子顕微鏡を用いた解析    | 13. 8. 1<br>} 14. 1.31 |
|       | 教育学部 | 教 諭 | 浦 上 紀 子 | 中 国        | 姉妹校提携調印式を行うため               | 13. 8. 1<br>} 13. 8. 5 |
|       | 工学部  | 教授  | 熊 澤 英 博 | 韓 国        | 「超臨界流体の利用」に関する研究打合せ         | 13. 8. 1<br>} 13. 8. 8 |
|       | 教育学部 | 教 諭 | 藤 井 克 弘 | 中 国        | 姉妹校提携調印式を行うため               | 13. 8. 1<br>} 13. 8. 5 |
|       | 工学部  | 教授  | 升 方 勝 巳 | ルーマニア, ロシア | パルスイオンビームを用いた材料開発に関する研究状況調査 | 13. 8. 2<br>} 13. 8.13 |
|       | 工学部  | 教授  | 川 田 勉   | ロ シ ア      | 共同研究打ち合わせ                   | 13. 8. 3<br>} 13. 8.13 |
|       | 工学部  | 教授  | 坂 井 純 一 | ロ シ ア      | 宇宙プラズマについての共同研究             | 13. 8. 3<br>} 13. 8.13 |

|      |      |       |              |   |                                |                        |
|------|------|-------|--------------|---|--------------------------------|------------------------|
| 理学部  | 助教授  | 桑井智彦  | アメリカ合衆国      | 「強相関伝導系国際会議2001」に出席, 研究発表                     | 13. 8. 5<br>} 13. 8.11         |                        |
| 工学部  | 助教授  | 小田晃規  | アメリカ合衆国      | 第10回新規芳香族化合物国際シンポジウム (ISNA-10) に出席, 研究発表      | 13. 8. 5<br>} 13. 8. 9         |                        |
| 理学部  | 教授   | 石川義和  | アメリカ合衆国      | 「強相関伝導系国際会議2001」に出席, 研究発表                     | 13. 8. 5<br>} 13. 8.16         |                        |
| 人文学部 | 助教授  | 呉人恵   | ロシア          | コリヤーク語現地調査                                    | 13. 8.12<br>} 14. 3.13         |                        |
| 人文学部 | 助教授  | 徳永淑恵  | フランス         | ベル・エポック期パリの女流詩人とジャポニズムの諸相についての資料収集・調査         | 13. 8.13<br>} 13. 9. 5         |                        |
| 理学部  | 助教授  | 池田榮雄  | 韓国           | 第1回慶北大学-富山大学研究集会に出席, 講演                       | 13. 8.14<br>} 13. 8.19         |                        |
| 理学部  | 教授   | 小林久寿雄 | 韓国           | 第1回慶北大学-富山大学研究集会に出席, 講演                       | 13. 8.14<br>} 13. 8.19         |                        |
| 理学部  | 教授   | 久保文夫  | 韓国           | 第1回慶北大学-富山大学研究集会に出席, 講演                       | 13. 8.14<br>} 13. 8.19         |                        |
| 理学部  | 助教授  | 古田高士  | 韓国           | 第1回慶北大学-富山大学研究集会に出席, 講演                       | 13. 8.14<br>} 13. 8.19         |                        |
| 人文学部 | 講師   | 小林功   | フランス         | 資料調査  | 13. 8.16<br>} 13. 8.26         |                        |
| 教育学部 | 教授   | 山西潤一  | 連合王国         | 日英共同学校教育の情報化シンポジウムに出席, 招待講演                   | 13. 8.16<br>} 13. 8.26         |                        |
| 工学部  | 教授   | 椿範立   | タイ           | 研究打ち合わせ                                       | 13. 8.19<br>} 13. 8.25         |                        |
| 教育学部 | 教授   | 佐藤幸男  | フィジー         | 極小国家の「国家アイデンティティ」の社会的・経済的・文化的基盤に関する実態調査, 資料収集 | 13. 8.20<br>} 13. 9. 7         |                        |
| 経済学部 | 助教授  | 馬駿    | 中国           | 中国の国有企業と失業問題に関する実態調査研究の打合せ                    | 13. 8.20<br>} 13. 8.27         |                        |
| 人文学部 | 助教授  | 徳永洋介  | 中国           | 山東省史跡実地調査                                     | 13. 8.22<br>} 13. 9. 4         |                        |
| 教育学部 | 助教授  | 黒田卓   | アメリカ合衆国      | 米国の小, 中学校における総合的な学習の実施状況の調査                   | 13. 8.22<br>} 13. 8.29         |                        |
| 経済学部 | 助教授  | 中村和之  | オーストリア       | 第57回国際財政学会 (IIPF) に出席, 研究発表                   | 13. 8.25<br>} 13. 9. 1         |                        |
| 人文学部 | 講師   | 和田とも美 | 韓国           | 植民地朝鮮文学に関する資料収集                               | 13. 8.29<br>} 13. 9. 4         |                        |
| 人文学部 | 助教授  | 梁有紀   | 中国           | 上海都市文学に関する研究                                  | 13. 8.31<br>} 13. 9. 1         |                        |
| 工学部  | 助教授  | 堀田裕弘  | スイス          | 符号化された画像の品質評価に関する研究, 資料収集                     | 13. 8.31<br>} 13.10.31         |                        |
| 海外研修 | 人文学部 | 外国人教師 | フェダーホルト・キャレン | 連合王国, ドイツ                                     | 研究打合せ                          | 13. 8. 1<br>} 13. 9.11 |
|      | 工学部  | 助教授   | 古出眞路         | ドイツ   | 合同天文会議に出席, 研究発表                | 13. 8. 3<br>} 13. 8.11 |
|      | 人文学部 | 助教授   | 青木恭子         | ロシア   | 19世紀世紀末~20世紀初頭ロシア社会史に関する研究資料収集 | 13. 8. 4<br>} 13.10. 5 |

|      |       |                |                   |   |                        |
|------|-------|----------------|-------------------|---|------------------------|
| 工学部  | 講師    | 宮 武 滝 太        | アメリカ合衆国           | 第10回新規芳香族国際会議に出席  | 13. 8. 5<br>} 13. 8. 9 |
| 人文学部 | 助教授   | 大 野 圭 介        | 中 国               | 「第5回詩経国際学術検討会」に出席   | 13. 8. 5<br>} 13. 8.15 |
| 人文学部 | 外国人教師 | Claudia Schmid | オーストリア            | オーストリア・ハンガリー人の東アジア調査旅行の研究   | 13. 8. 7<br>} 13. 9.14 |
| 経済学部 | 教授    | 飯 田 剛 史        | 韓 国               | 日韓宗教研究フォーラムに出席  | 13. 8.16<br>} 13. 8.20 |
| 理学部  | 教授    | 井 上 弘          | オーストリア            | 第12回国際光合成会議に出席  | 13. 8.17<br>} 13. 8.25 |
| 経済学部 | 助教授   | 岸 本 寿 生        | タイ, ヴィエトナム        | アジア通貨危機後の経営実態調査   | 13. 8.19<br>} 13. 8.31 |
| 経済学部 | 教授    | 中 島 信 之        | 韓 国               | 「2nd International Symposium on Advance Intelligent Systems」に出席, 発表 | 13. 8.22<br>} 13. 8.27 |
| 人文学部 | 助教授   | 武 田 昭 文        | ロ シ ア             | ロシア18世紀文学及び20世紀亡命文学に関する研究資料収集                                       | 13. 8.25<br>} 13. 9.17 |
| 経済学部 | 教授    | 小 倉 利 丸        | 韓 国               | アジア情報通信テクノロジーワークショップの準備会, 研究打合せ                                     | 13. 8.27<br>} 13. 9. 2 |
| 工学部  | 助手    | 喜久田 寿 郎        | ス ペ イ ン           | 第10回国際強誘電体会議 (IMF-10) に出席, 発表                                       | 13. 8.28<br>} 13. 9.15 |
| 理学部  | 助教授   | 大 澤 力          | バ ル ギ ー<br>アイルランド | 5th European Congress on Catalysis に出席, 研究発表                        | 13. 8.30<br>} 13. 9. 9 |

## お知らせ

### 人事院勧告の概要

平成13年8月8日、人事院は国会及び内閣に対し、国家公務員法、一般職の給与に関する法律等の規定に基づき、一般職の職員の給与について報告し、併せて給与の改定について勧告するとともに、公務員人事管理につい

て報告しました。

給与勧告の骨子及び公務員人事管理に関する報告の骨子は、以下のとおりです。

### 給与勧告の骨子

#### ○ 本年の給与勧告のポイント

- ① 期末・勤勉手当（ボーナス）の引下げ（△0.05月分）
- ② 俸給表の改定を行わず、官民給与の較差に見合った年額相当額を暫定的な一時金（3,756円）として支給～平均年間給与、3年連続の減少（△1.6万円（△0.2%））

引き続き厳しい諸情勢の下にある民間企業の給与抑制措置・雇用調整等の実施状況について幅広く調査・把握するとともに、有識者、企業経営者等の意見を広く聴取し、公務員の給与改定について検討

### 1 給与勧告の基本的考え方

- 〈給与勧告の意義〉 労働基本権制約の代償措置、労使関係の安定等能率的公務運営の基盤  
 〈民間準拠方式〉 市場原理による決定が困難、社会一般の情勢に適応した処遇の確保  
 雇用情勢も反映している民間給与に均衡させるのが最も合理的

### 2 官民給与の比較

約7,500民間事業所の約44万人の個人別給与を实地調査（完了率94%）

- 〈月例給〉 官民の4月分給与を調査（ベア中止、賃金カット等を実施した企業の状況も反映）  
 単純な平均値ではなく、職種、役職段階、年齢など給与決定要素の同じ者同士を比較  
 〈ボーナス〉 過去1年間の民間の支給実績（支給月数）と公務の年間支給月数を比較

○ 官民格差（月例給） 313円 0.08% [行政職（一）・（二）現行給与 379,836円 平均年齢40.7歳]

### 3 改定の考え方

- ・ 官民給与の精確な比較による適正な公務員給与水準の維持の要請（昨年の国会附帯決議）
- ・ 民間の改定状況  
 ～約半数（52.3%）の事業所で、雇用調整等を行いつつ、低率であってもベア実施
- ・ 四現業職員（約31万人）はベア完全実施が決定（0.07%、210円）
- ・ 行政組織の整理・合理化、定員削減（10年間で25%削減）等公務における業務効率化の努力
- ・ 連年のボーナス引下げ

などを考慮すると、月例給について算出された較差についてはこれを埋める形で均衡を図るよう所要の改定が必要

〈俸給表、既存の手当の改定は行わず、暫定的な一時金により措置〉

- ・ 官民給与の較差が昨年よりもさらに小さく、配分にめりはりをつけた俸給表の改定は困難
- ・ 諸手当についても、民間の支給状況と均衡しており改定は不要
- ・ 官民格差を埋めるために、来年以降生じる官民給与較差と合わせて俸給表や手当の改定等の措置をとることを前提に、その年額相当額を暫定的な一時金として支給  
 暫定的な一時金 年額3,756円（月額313円相当）

〈ボーナスは民間の支給月数に見合うよう引下げ〉（民間給与実態調査結果：4.69月）

### 4 改定の内容

#### (1) 暫定的な一時金の支給

- ・ 当分の間、3月1日（基準日）において給与法に基づく俸給表（指定職俸給表を除く。）の適用を受ける職員に対し原則年額3,756円の一時金を支給
- ・ なお、基準日に育児休業中の者に対しても、勤務実績に応じて支給するよう措置

#### (2) 期末・勤勉手当等の引下げ

- ・ 年間支給月数 4.75月分→ 4.7月分（△0.05月）

※ 12月期の期末手当で引下げ

一般職員

1.6月分→ 1.55月分（△0.05月）

特定幹部職員 1.4月分→ 1.35月分 (△0.05月)  
 指定職職員 (期末特別手当) 1.6月分→ 1.55月分 (△0.05月)

[実施時期] 平成13年4月1日

【公務員給与水準の在り方の検討】

各地域に勤務する公務員の給与水準について、その地域の民間給与に比べて高いのではないかとの指摘もあるところ。指摘を受けるような公務員給与の在り方については、国民の理解を得ていく必要。このため、民間給与の実態把握、公務部内の給与配分の在り方について、関係各省等の協力を得て、速やかに検討

【参考】 モデル給与例

|        |      |         | 勤 告 後     |            | 年 間 給 与<br>の 減 少 額 | 3 年 間 の 給<br>与 の 減 少 額 |
|--------|------|---------|-----------|------------|--------------------|------------------------|
|        |      |         | 月 額       | 年間給与       |                    |                        |
| 係 員    | 25 歳 | 独身      | 188,900   | 3,158,000  | △ 6,000            | △ 94,000               |
|        | 30 歳 | 配偶者     | 243,600   | 4,053,000  | △ 9,000            | △ 109,000              |
| 係 長    | 35 歳 | 配偶者, 子1 | 327,700   | 5,523,000  | △ 13,000           | △ 146,000              |
|        | 40 歳 | 配偶者, 子2 | 366,900   | 6,178,000  | △ 16,000           | △ 160,000              |
| 地方機関課長 | 50 歳 | 配偶者, 子2 | 490,380   | 8,155,000  | △ 21,000           | △ 237,000              |
| 本府省課長  | 45 歳 | 配偶者, 子2 | 685,020   | 11,821,000 | △ 35,000           | △ 403,000              |
| 本府省局長  | —    | —       | 1,148,000 | 19,576,000 | △ 82,000           | △ 817,000              |
| 事務次官   | —    | —       | 1,507,520 | 25,707,000 | △ 107,000          | △ 1,073,000            |

## 公務員人事管理に関する報告の骨子

公務員に対する国民の批判や環境変化の急速化等に対応するため、厳正な規律の保持とともに、能力・実績を基礎とした人材活用や開放的な公務組織の実現が重要と認識し、今後の公務員制度改革の具体化に向けて必要な視点に言及するとともに、喫緊の課題を報告

### 1 今後の公務員制度改革の視点

#### (1) 公務員制度の基本原則

ア 行政が特定の利益や、勢力、情実に影響されずに中立公正に行われるよう、公務員制度においては、「国民全体の奉仕者」としての公務員の中立・公正性の視点が重要

イ 労働基本権制約の下では、人事院が労使の間に立って勤務条件について勧告をし、各般の基準を設定。このような代償機能が適正に発揮される仕組みが不可欠

今日的要請に対応した制度改革に当たっても、こうした公務員制度の基本原則に留意する必要

#### (2) 公務員制度改革の具体化に向けた協力

ア 中立第三者機関として、これまでに培った専門的知識、ノウハウ、問題意識を生かしながら、公務員制度改革の基本設計の具体化に向けて的確に協力

イ 国民が求める公務員人事管理システムの構築に向け、以下の視点に留意する必要

- ・ 評価・給与制度の設計については、関係当事者との十分な意志疎通と評価の試行が必要
- ・ 再就職規制については、国民の理解と納得が得られる仕組みとしていく必要

- ・ 採用試験については、行政の複雑・高度化、法科大学院設置の動き等を踏まえ、抜本的な見直しが必要

(3) 環境変化の急速化等に対応した人事管理の推進

- ・ 急速化する環境変化への適応性を高めるため、能力・実績を基礎とする弾力的な人材活用、官民双方の人的交流の促進が重要
- ・ 人事院は、各府省の主体的、機動的な人事管理に向けて、各制度の趣旨を勘案しつつ、事前関与から明確な基準設定・事後チェックの方向で適切に見直し

2 喫緊の課題

ア 倫理研修の充実

課長補佐、係長クラスを対象にした新たな倫理研修の開発等を通じ、職員の倫理観を涵養

イ 女性国家公務員の採用・登用の拡大

各府省の策定する拡大計画を通じた取組の推進。キャリア・アップのための研修を実施

ウ 職業生活と家庭生活の両立のための条件整備（別途意見の申出及び勧告）

エ 若手研究員の任期の弾力化

研究活動の活性化のため、任期付研究員制度の「若手育成型」の任期等について検討

## 主 要 行 事

### 本 部

- 8月1日 富山大学説明会（於：黒田講堂・各学部）
- 2日 国際交流会館運営委員会
- 3日 評議会（臨時）
- 6日 事務局連絡会  
評議会（臨時）
- 9日 評議会（臨時）
- 10日 国立大学の設置形態に関する検討特別委員会・富山大学の在り方に関する検討特別委員会の合同委員会
- 20日 部局長会議  
国立大学の設置形態に関する検討特別委員会・富山大学の在り方に関する検討特別委員会の合同委員会
- 23日 北陸地区国立大学事務局長懇談会（於：金沢大学）
- 27日 富山大学説明会（於：KKRホテル名古屋）  
部局長会議  
国立大学の設置形態に関する検討特別委員会・富山大学の在り方に関する検討特別委員会の合同委員会  
評議会（臨時）
- 28日 国立大学の設置形態に関する検討特別委員会・富山大学の在り方に関する検討特別委員会の合同委員会
- 30日 入学試験実施委員会
- 31日 国立大学の設置形態に関する検討特別委員会・富山大学の在り方に関する検討特別委員会の合同委員会

**人 文 学 部**

- 8月1日 教授会  
2日 学部広報委員会  
8日 学部将来計画委員会  
10日 教授会（人事）  
教授会  
21日 学部将来計画委員会

**教 育 学 部**

- 8月29日 学部将来計画委員会

**経 済 学 部**

- 8月3日 学部入学試験委員会  
10日 学部総務委員会（持ち回り）  
27日 学部学生生活委員会  
28日 学部教務委員会  
図書等委員会（持ち回り）  
31日 研究科委員会小委員会

**理 学 部**

- 8月8日 理学部将来計画策定ワーキンググループ会議  
学科長会議  
22日 学部施設委員会  
学科長会議  
28日 大学院理工学研究科博士後期課程入学試験  
理学部将来計画策定ワーキンググループ会議  
28～29日 大学院理工学研究科博士前期課程入学試験  
31日 学部安全管理委員会排水安全専門委員会

**工 学 部**

- 8月1日 教務委員会  
6日 学部図書委員会  
7日 学部学生生活委員会  
8日 学部将来計画委員会  
工学部入学試験検討委員会  
28日 平成14年度富山大学大学院理工学研究科（博士後期課程）入学試験  
28～29日 平成14年度富山大学大学院理工学研究科（博士前期課程）入学試験  
31日 学部図書委員会  
学部学生生活委員会



保健管理センター

8月7日 教員選考委員会

極東地域研究センター

8月7日 運営委員会

9日 特別セミナー

特別講演会

演題：「開発経済学の再生に向けて -市場経済化をどう理論化するか?-」

講師：福留 和彦（奈良産業大学経済学部講師）

社会開発研究班中間報告「ロシアにおける雇用調整」

講師：堀江 典生（極東地域研究センター助教授）



△ 教育学部附属中学校と中国遼寧省阜新市実験中学校との友好校関係協定調印式



△ KKR名古屋三の丸において開催された富山大学説明会

編 集 富山大学総務部企画室 〒930-8555富山市五福3190 TEL.(076) 445-6029 FAX.(076) 445-6033  
印刷所 あげぼの企画(株) 〒930-0031富山市住吉町1-5-8 TEL.(076) 424-1755 FAX.(076) 423-8899